



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000(代)
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,480	2.7	103	△76.5	126	△73.0	65	△83.6
2022年3月期第1四半期	3,388	11.6	440	37.6	467	38.2	399	59.0
(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期	73百万円(△80.0%)		2022年3月期第1四半期		370百万円(45.1%)			
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年3月期第1四半期	1.96	—	—	—				
2022年3月期第1四半期	11.95	—	—	—				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,014	9,250	60.6
2022年3月期	15,732	9,233	58.7
(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期	9,094百万円	2022年3月期	9,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50	
2023年3月期	—	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期の年間配当金には、創立30周年の記念配当(期末配当につき1.00円)を含めております。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	7,800	11.7	450	△12.9	500	△9.4	400	△33.7	11.96	
通期	15,900	7.6	860	1.4	960	2.0	750	△14.4	22.42	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	37,371,500株	2022年3月期	37,371,500株
2023年3月期1Q	3,914,963株	2022年3月期	3,914,423株
2023年3月期1Q	33,456,884株	2022年3月期1Q	33,437,920株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、事業セグメント区分及び主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

その他セグメントの株式会社PUBFUNは、2022年4月に当社の100%子会社である株式会社インプレスR&Dと株式会社メディアドゥを新設分割会社とする共同新設分割に伴い設立され、当社グループの子会社となりました。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社 ㈱原の小屋
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、宿泊サービスの提供	
航空・鉄道 (航空・鉄道分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	イカロス出版㈱ ㈱天夢人
		ソリューション	パートワーク等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱PUBFUN ㈱クリエイターズギルド ㈱iDMP Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業区分別売上高は、外部顧客への売上高を、事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んだ売上高をそれぞれ記載し、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、イカロス出版の業績を取り込んだことによる売上の増加はあったものの、前期にあった電子書店の大型キャンペーン等の反動により電子出版の販売が減少したことに加え、音楽アーティスト関連の大型ムック本の反動等により、コンテンツ事業の売上高は前年同期（2,796百万円）に比べ0.6%減少し、2,780百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業が好調に推移したことに加え、当期首に新設したPUBFUNにおいて、㈱メディアドゥとの協業が開始されたことで、売上高が前期（591百万円）に比べ18.3%増加し、699百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（3,388百万円）に比べ2.7%（91百万円）増加し3,480百万円となりました。営業利益につきましては、増収も収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（440百万円）に比べ336百万円減少し、103百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（467百万円）に比べ341百万円減少し、126百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（399百万円）に比べ333百万円減少し、65百万円となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントの売上高につきましては、前期にあった電子書店の大型キャンペーン等の反動やテレワーク需要等の一巡で電子出版及び書籍の販売が減少したことにより、出版・電子出版は前年同期（692百万円）に比べ17.0%減少し575百万円となりました。また、デジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」(<https://www.watch.impress.co.jp/>)において、巣ごもり需要の一巡によるPVの減少や不透明な景気動向が影響したことで広告収入が減少し、ネットメディア・サービスは前年同期（417百万円）に比べ4.8%減少し397百万円となりました。加えて、ターゲットメディアは、ターゲット広告が減収したものの、イベント収入が好調に推移したことにより、前年同期（219百万円）に比べ14.9%増加し251百万円となりました。ソリューション事業においては、国内受託案件の減少等により、前年同期（114百万円）に比べ21.3%減少し90百万円となりました。これらの結果、コンテンツ事業の売上高は前年同期（1,444百万円）に比べ8.9%減少し、1,315百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子出版及び書籍の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期（63百万円）に比べ5.3%増加し67百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,515百万円）比8.3%減の1,389百万円となりました。セグメント利益は、大幅な減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（386百万円）と比べ127百万円減少し、258百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントの売上高につきましては、書籍の刊行点数増加等により増収したものの、前期の音楽アーティスト関連の大型ムック本の反動による減少を補いきれず、コンテンツ事業の売上高は前年同期（402百万円）に比べ8.1%減少し、369百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」(<https://www.digimart.net/>)における楽器店からの決済サービス収入が増加したほか、パートナー出版社の出版物の販売も堅調に推移し、売上高は前期（115百万円）に比べ6.1%増加し、122百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（522百万円）比5.6%減の493百万円となりました。セグメント利益は、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（56百万円の利益）と比べ95百万円利益が減少し、38百万円の損失となりました。

③ デザイン

デザインセグメントの売上高につきましては、電子出版の販売が好調に推移したことに加え、ムックの刊行点数増により増収となったものの、書籍レーベル「立東舎」を音楽セグメントへ移管したことにより、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（245百万円）比3.7%減の235百万円となりました。セグメント利益では、減収と販売管理費が増加したことにより、前年同期（6百万円の損失）と比べ損失が11百万円増加し、18百万円の損失となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントの売上高につきましては、前期にあった電子書店の大型キャンペーン等に加え、前期の書籍やムック本の大型刊行による反動等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（418百万円）比19.5%減の336百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（58百万円）と比べ56百万円利益が減少し、2百万円となりました。

⑤ 航空・鉄道

航空・鉄道セグメントの売上高につきましては、パートワーク受託案件の減収があったものの、書籍の出荷増に加え、イカロス出版の業績を取り込んだことにより、コンテンツ事業は大幅な増収となりました。

以上により、「航空・鉄道」の売上高は、前年同期（86百万円）比251.3%増の303百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの、収益構造の見直し過程にあるイカロス出版が、営業損失を計上したこと等も影響し、前年同期（0百万円の損失）と比べ47百万円損失が増加し、47百万円の損失となりました。

⑥ モバイルサービス

モバイルサービスの売上高につきましては、電子出版が減収したことにより、コンテンツ事業の売上高は前期（54百万円）と比べ3.9%減少し、52百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの大幅な増収により、売上高は前期（361百万円）と比べ15.5%増加し、417百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（416百万円）比13.2%増の471百万円となりました。セグメント利益では、自社マンガ制作費等が増加し収益性が低下したものの、増収と販売管理費の減少により、前年同期（80百万円）と比べ18百万円増加し、99百万円となりました。

⑦ その他

その他セグメントにつきましては、前期にあった電子書店の大型キャンペーン等の反動による減収があったものの、個人向けPOD出版プラットフォームサービスの収入の増加や、㈱メディアドゥとの協業の開始により、出版社・法人向けPOD出版プラットフォームサービス「PUBRID」の業績を取り込んだことで、売上高は前年同期（217百万円）比31.9%増の286百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が増加したものの、増収により、前年同期（7百万円）と比べ3百万円利益が増加し、11百万円の利益となりました。

⑧ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加等により、前年同期（727百万円）比7.8%増の783百万円となりました。セグメント利益では、増収となったものの、販売管理費の増加を賄えず、前年同期（273百万円）と比べ36百万円減少し、237百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、PUBFUNの共同新設分割によるのれんの計上があったものの、季節的変動要因による受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ718百万円減少し15,014百万円となりました。

負債につきましては、季節的変動要因による仕入債務等の減少や賞与引当金の減少、有利子負債の返済等により、734百万円減少し5,764百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や、非支配株主持分の計上等により、16百万円増加し9,250百万円となりました。

自己資本は9,094百万円となり、自己資本比率は60.6%と前連結会計年度末(58.7%)と比べ1.9ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間につきましては、前期実績に対し、減益幅が大きい結果となりましたが、前期の電子書店の大型キャンペーンや大型の出版タイトルの刊行による反動等は、業績予想に織り込み済みであり、業績予想との乖離は前期との対比に比べると小さい水準となっております。

業績予想との対比では、プラットフォーム事業は、電子コミックプラットフォーム事業を中心に全体的に好調な推移となったものの、出版販売については、巣ごもり需要の一巡や景気動向の不透明感から停滞する市況感に近い動きとなり、全体的に出荷が弱含みな状況で推移、またネットメディアの広告についても同様の動きとなり、現段階では予想を下回る業績での推移となっております。

第2四半期連結会計期間につきましても、ターゲットメディアは堅調な推移を想定する一方で、コロナ感染拡大の影響、出版販売における弱含みな市況感や出版の刊行遅延等の業績リスク等に懸念される状況もありますが、現時点では、不確定な要素も多いことから、公表済みの連結業績予想を据え置きとし、今後業績予想の修正が必要なことが明らかとなった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,316,829	6,305,274
受取手形、売掛金及び契約資産	4,412,175	3,600,412
商品及び製品	1,319,700	1,440,979
仕掛品	212,375	188,599
返品資産	245,392	192,735
その他	927,774	875,894
貸倒引当金	△704	△613
流動資産合計	13,433,542	12,603,282
固定資産		
有形固定資産	508,467	488,139
無形固定資産		
ソフトウェア	210,446	223,970
のれん	—	151,767
その他	14,525	14,688
無形固定資産合計	224,972	390,426
投資その他の資産		
投資有価証券	687,192	679,715
繰延税金資産	397,023	397,041
その他	481,671	456,235
投資その他の資産合計	1,565,887	1,532,992
固定資産合計	2,299,327	2,411,557
資産合計	15,732,870	15,014,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,595,062	1,394,797
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	125,000	115,625
未払法人税等	136,864	65,312
返金負債	518,824	419,078
賞与引当金	242,412	33,052
役員賞与引当金	89	16,757
その他	1,803,164	1,642,359
流動負債合計	4,771,418	4,036,982
固定負債		
長期借入金	137,500	115,625
繰延税金負債	22	17
退職給付に係る負債	1,464,180	1,488,215
長期末払金	65,712	64,924
その他	60,093	58,866
固定負債合計	1,727,508	1,727,648
負債合計	6,498,927	5,764,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,656,260	1,669,260
利益剰余金	2,991,166	2,839,154
自己株式	△698,003	△698,122
株主資本合計	9,290,444	9,151,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,057	△2,530
退職給付に係る調整累計額	△60,482	△54,022
その他の包括利益累計額合計	△62,539	△56,553
非支配株主持分	6,038	155,448
純資産合計	9,233,943	9,250,208
負債純資産合計	15,732,870	15,014,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,388,749	3,480,085
売上原価	1,817,649	2,105,327
売上総利益	1,571,099	1,374,758
販売費及び一般管理費	1,130,867	1,271,294
営業利益	440,231	103,463
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	404	469
持分法による投資利益	24,611	17,425
為替差益	—	1,099
その他	5,156	5,025
営業外収益合計	30,174	24,022
営業外費用		
支払利息	1,219	1,198
為替差損	97	—
子会社清算損	1,585	—
その他	192	180
営業外費用合計	3,096	1,379
経常利益	467,310	126,106
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	50,626	—
特別利益合計	50,626	—
税金等調整前四半期純利益	517,937	126,106
法人税、住民税及び事業税	119,110	57,302
法人税等調整額	△593	934
法人税等合計	118,517	58,237
四半期純利益	399,419	67,868
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2,410
親会社株主に帰属する四半期純利益	399,421	65,458

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	399,419	67,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△473
為替換算調整勘定	△35,124	—
退職給付に係る調整額	5,817	6,460
その他の包括利益合計	△29,341	5,986
四半期包括利益	370,077	73,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,079	71,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2,410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,444,206	402,023	241,229	414,970	85,571	54,273	2,642,275	154,717	—	2,796,993
メディア& サービス事業	1,329,405	365,406	241,229	405,067	66,841	37,553	2,445,502	67,888	—	2,513,391
出版・電子出版	692,903	334,267	233,664	389,712	66,841	37,404	1,754,794	67,888	—	1,822,683
ネットメディア ・サービス	417,474	31,138	7,564	15,354	—	149	471,681	—	—	471,681
ターゲット メディア	219,027	—	—	—	—	—	219,027	—	—	219,027
ソリューション 事業	114,801	36,617	—	9,903	18,730	16,720	196,772	86,829	—	283,602
プラットフォーム 事業	63,988	115,361	—	—	—	361,706	541,057	50,699	—	591,756
顧客との契約から 生じる収益	1,508,194	517,385	241,229	414,970	85,571	415,980	3,183,332	205,416	—	3,388,749
外部顧客への売上高	1,508,194	517,385	241,229	414,970	85,571	415,980	3,183,332	205,416	—	3,388,749
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6,985	4,764	3,876	3,125	699	935	20,387	11,594	△31,982	—
計	1,515,180	522,150	245,106	418,096	86,271	416,915	3,203,720	217,011	△31,982	3,388,749
セグメント利益又は セグメント損失(△)	386,410	56,833	△6,664	58,934	△422	80,945	576,037	7,896	△143,702	440,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△143,702千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△31,982千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△444,192千円、セグメント間の営業費用の取引消去332,471千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,315,040	369,389	231,199	334,091	303,046	52,152	2,604,919	175,222	—	2,780,141
メディア& サービス事業	1,224,701	327,981	231,199	323,204	293,275	34,708	2,435,070	59,434	—	2,494,504
出版・電子出版	575,417	300,536	227,539	308,837	285,480	34,708	1,732,521	59,434	—	1,791,955
ネットメディア ・サービス	397,608	27,444	3,659	14,366	7,794	—	450,873	—	—	450,873
ターゲット メディア	251,675	—	—	—	—	—	251,675	—	—	251,675
ソリューション 事業	90,339	41,407	—	10,887	9,771	17,444	169,848	115,787	—	285,636
プラットフォーム 事業	67,397	122,438	—	—	—	417,778	607,614	92,329	—	699,944
顧客との契約から 生じる収益	1,382,438	491,828	231,199	334,091	303,046	469,931	3,212,534	267,551	—	3,480,085
外部顧客への売上高	1,382,438	491,828	231,199	334,091	303,046	469,931	3,212,534	267,551	—	3,480,085
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7,082	1,302	4,743	2,440	18	2,006	17,595	18,699	△36,295	—
計	1,389,521	493,130	235,942	336,532	303,065	471,937	3,230,129	286,251	△36,295	3,480,085
セグメント利益又は セグメント損失(△)	258,675	△38,350	△18,079	2,819	△47,583	99,260	256,741	11,862	△165,140	103,463

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△165,140千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△36,295千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△527,928千円、セグメント間の営業費用の取引消去399,083千円が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、当社の100%子会社である株式会社インプレスR&Dと株式会社メディアドゥを新設分割会社とし、共同新設分割を実施しております。その結果、当第1四半期連結会計期間より新設分割設立会社の株式会社PUBFUNを、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において159,755千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2021年10月26日開催の取締役会において、経営管理区分を見直すことといたしました。

具体的には、新たに「航空・鉄道」セグメントを設けることとし、これまで「その他」として管理していたイカロス出版株式会社及び株式会社天夢人の2社を、前第3四半期連結会計期間より「航空・鉄道」セグメントとして管理しております。これに伴い、報告セグメントを「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」及び「モバイルサービス」の6区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。